

手漉き和紙の材料 楮を蒸す桶をいただきました

昨年の11月12日(火)に手漉き和紙の材料である楮^{こうぞ}を蒸す際に使用する「桶」を、竹下伸幸さん(山十町)からいただきました。

倉庫の2階に保管されていて保存状態もよい立派な桶でしたので2月9日(日)に行われた戦国国衆まつりでも早速使用させていただきました。これからも和水町の和紙づくりに大切に使用させていただきます。

竹下さんには手漉き和紙の館で作成した感謝状を贈呈しました。



寄贈された桶

菊水中央小児童が手作りのお弁当に挑戦

2月22日(土)、菊水中央小学校で児童が自分のお弁当を手作りする「お弁当の日」が実施されました。

同校によると、以前は朝食の1品食べが多く体調不良を訴える児童が多かったものの、食育について保護者の理解を得ながら進めたことで、大きく改善したとのこと。

「お弁当の日」実施後、児童からは、「家事の大変さが分かった」「自分で作るといつもよりおいしく感じた」といった感想や、保護者からは「栄養バランスの理解と、子どもたちの成長を感じることができた」などの声が聞かれ、親子で貴重な経験となったようでした。

皆さんも親子で手作りのお弁当に挑戦してみては？



自慢のお弁当と一緒にピース♪



つなぎひろがる生涯学習の輪 ～第8回生涯学習推進大会～

2月11日(火)三加和公民館で、第8回生涯学習推進大会が開催されました。

「親子で綴る人権標語(優秀賞)」や功労者表彰、コスモス学級やふれあい大学の閉講式、童話発表、優秀作文の発表、各種団体の年間活動状況の発表など和水町の元気の源が見えるような大会になりました。

また、特別講演として、サザエさんのマスオ役、それいけ!アンパンマンのジャムおじさん役などでおなじみの増岡弘さんをお招きし、「サザエさん一家は幸せみつけの達人ぞろい」と題して楽しいお話をしていただきました。参加された皆さんも、人権の大切さを再認識するとともに、素晴らしい発表や講演に感心されていました。



「久井原ふれ愛交流会」の事例発表



功労者表彰を受賞した上原西彦さん(板橋東区)

各種表彰

平成25年度

親子で綴る人権標語 優秀作品

三加和中学校(応募総数87作品)

「思いやり

それが絆づくりの第一歩」

1年生 津 唯花さん親子

「やさしい心で話そうよ

心と言葉はつながっている」

2年生 蒲池 彩さん親子

「助け合い

みんなで広げる 希望の輪」

3年生 福永 直輝くん親子

菊水中学校(応募総数145作品)

「やさしさと

笑顔で言えるありがとう」

2年生 齊木 さくらさん親子

「磨こうよやさしさ写す 心の鏡」

3年生 松田 蓮くん親子

「一人ひとりを大切に

みんなであつなごう 心のかけはし」

功労者表彰

手漉き和紙保存会 前会長 上原西彦さん

童話発表、優秀作文発表

第52回熊本県童話発表大会

題「にじいろのさかな」

菊水南小学校3年 片岡 遼春くん

第33回全国豊かな海づくり大会

作文コンクール 熊本県知事賞

題「未来まで続く海に」

菊水中央小学校6年 北川 ほかさん

平成25年度中学生の「税についての作文」

南九州地区納税貯蓄組合連合会

優秀賞 題「税が守る安心安全な生活」

三加和中学校3年 福山 文奈美さん

活動事例発表

中山間地を活用した竹林放牧

プロジェクト「私たちの百笑物語」

熊本農業高校 北原 麻美さん

熊本の宝物復興!「みさを大豆」。

そして、新たな食文化への挑戦!

熊本農業高校 山本 彩香さん

和水町のモデル分館活動

「久井原ふれ愛交流会」について

下久井原分館長 深草 謙一さん

想像力豊かな子どもを育てるお手伝い

和水お話し会 石原 和代さん